

I 町田市ひきこもり者支援体制推進事業について

1 事業の概要

「ひきこもり」などに係る実態を把握し、市民、関係機関、行政が一体となって自立を支援していただけるよう普及啓発をするとともに、連携協力体制を整備し、相談・支援の充実を行い、若者の社会的自立の支援を推進する。

2 事業の位置づけ

町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」

まちづくり基本目標

I 将来を担う人が育つまちをつくる

基本政策 3 生涯にわたって学び成長できるまちをつくる

政策 1 青少年の健やかな成長を支える環境をつくる

施策 2 若者の社会的自立の支援

を具体的にすすめるため、町田市新5カ年計画の重点事業として実施。

3 事業スケジュール

(1) 市内のひきこもり等の現状と実態を把握する

2012年度：一般市民意識調査の実施

民生委員・児童委員意識調査の実施

社会資源調査（精神保健・医療分野）の実施

2013年度：社会資源調査（NPO、就労関係機関、教育機関など）の実施

当事者調査の実施

(2) 効果的な支援体制を検討する

・社会資源調査を通じた情報収集・分析

・支援関係者を含めた事例検討会・講演会の実施

・所内相談支援体制の充実（本人グループ*1、親グループ*2、精神専門医相談）

(3) 関係機関同士がネットワークを構築し、地域が力を合わせて支援力を向上する

・2013年度：支援ネットワーク会議の準備

・2014年度以降：支援ネットワーク会議の開催

*1 ひきこもりの状態にある対象者本人が自宅以外で安心して外出できる居場所を提供し社会参加の足がかりとするため週1回グループワーク活動を行う。

*2 ひきこもりの状態にある子をもつ親が互いに学びあい親子関係の改善や当事者の回復に資することを目的に月1回グループワーク活動を行う。

ひきこもり者支援体制推進事業

事業概要

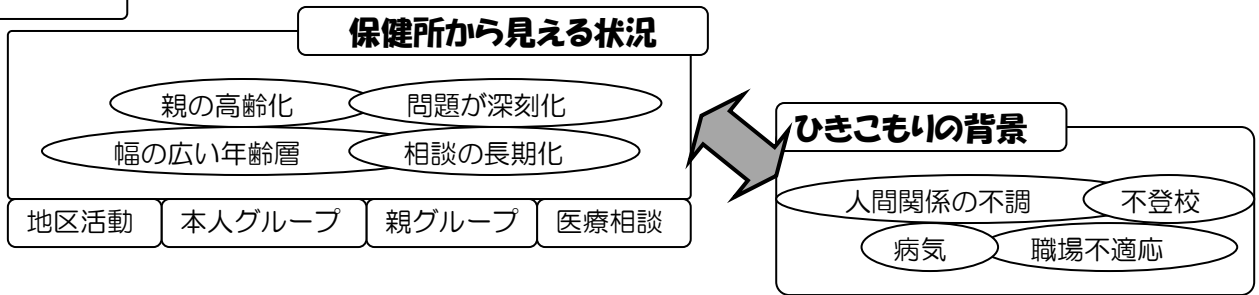
「ひきこもり」などに係る実態を把握し、市民、関係機関、行政が一体となって自立を支援していくよう普及啓発・連携協力体制を整備し、相談・支援の充実などを行い、ひきこもり者が社会参加しやすい地域を目指します。

町田市新5ヵ年計画（2012年度から2016年度）の重点事業。

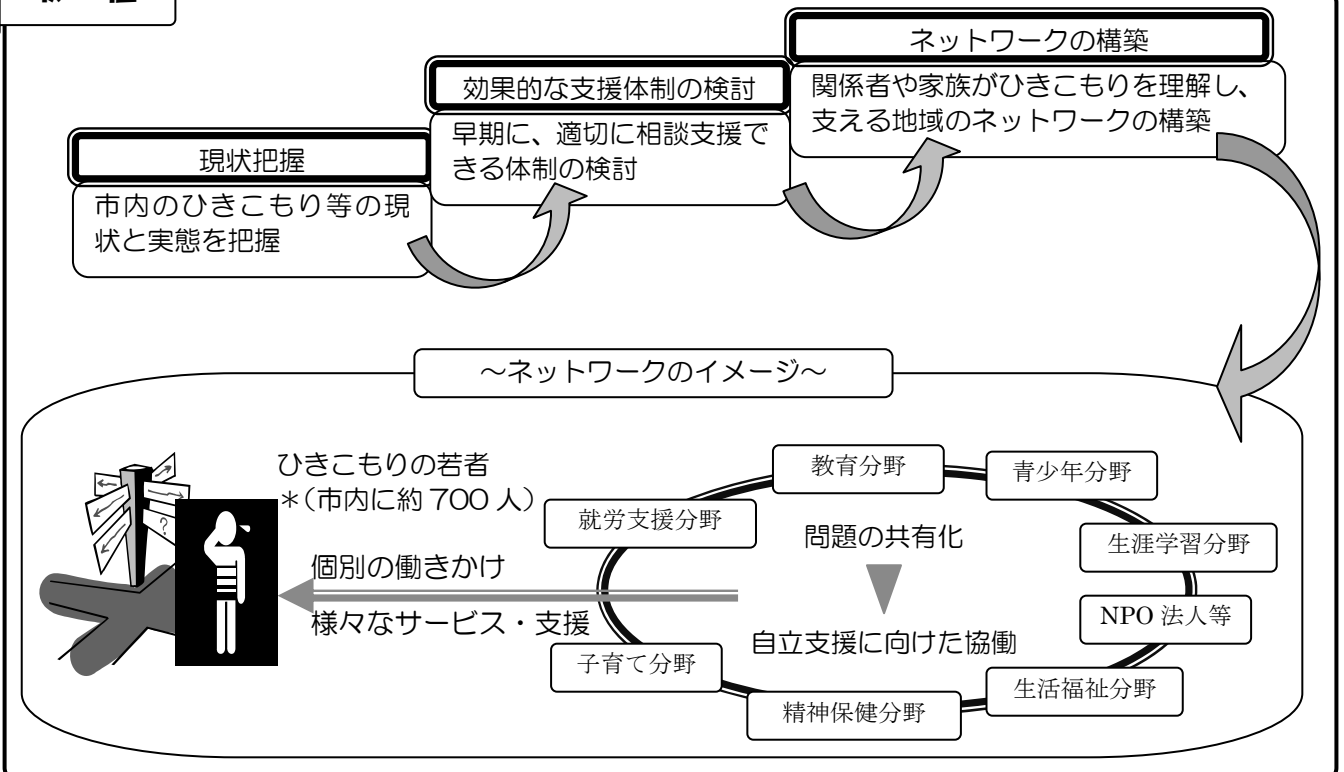
目指す姿

- 1 ひきこもり、ニートなど様々な要因によって社会的な不適応の状態にある若者の回復と、社会への参加、多様な形態の自立ができる仕組みがある。
- 2 当事者家族や関係者が、ひきこもり等の背景を理解して緩やかな回復を支援している。
- 3 地域において当事者家族が孤立しない仕組みがある。

現状



取組



※2013年1月1日現在「町田市住民基本台帳世帯と人口」による20歳代から30歳代までの若者103,558人に、東京都が実施した「平成19年度 若年者自立支援調査研究報告書」による、ひきこもりの出現率 0.72%を乗じて推計